

## バイオパイルにおけるモニタリング手法の検討 南洋土建(株)・(株)熊谷組・テクノス(株)



バイオパイル実験状況

パイルA : コントロール(無添加)

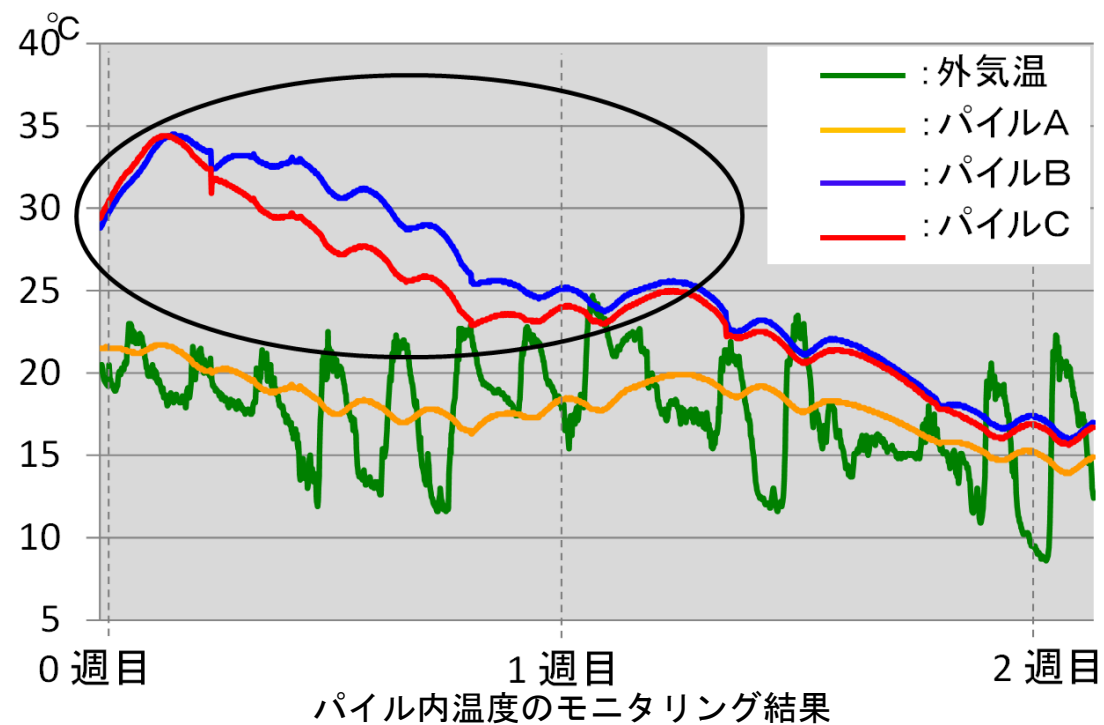
パイルB : スティミュレーション(栄養塩+有機資材)

パイルC : オーグメンテーション(石油分解菌+栄養塩+有機資材)



熱電対及び酸素センサー設置状況

バイオパイル上面より 30cm 付近に  
設置しモニタリングを実施



パイル内の温度データは微生物活性化に関する有用な情報となります。  
工期など時間的な制約があるサイトでは、短時間で結果が得られるパイル内温度等の結果を参考に積極的な浄化の次工程への判断が重要となります。